

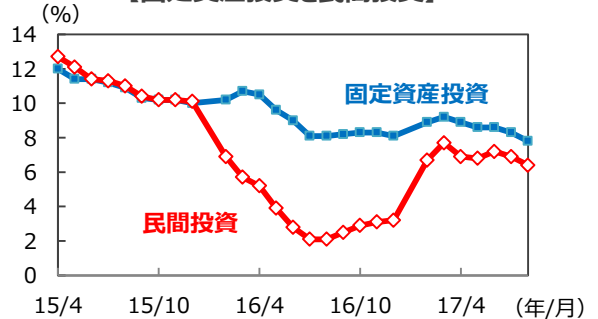
**今日のトピック 中国の経済・市場動向（2017年9月）**

**景気は減速傾向：中国株、人民元は堅調地合い**

**ポイント1 固定資産投資の伸び鈍化  
生産や小売売上高も伸び鈍化**

- 中国国家统计局は14日、主要経済指標を発表しました。1～8月の固定資産投資は前年同期比+7.8%と、1～7月（同+8.3%）から伸び率が鈍化しました。固定資産投資全体の約6割を占める民間投資の減速などが要因です。
- 8月の鉱工業生産は前年同月比+6.0%と、7月（同+6.4%）から伸び率が縮小しました。また、8月の小売売上高も前年同月比+10.1%と、7月（同+10.4%）からやや減速しました。

【固定資産投資と民間投資】



(注) データは2015年4月～2017年8月、年初来累計の前年同期比。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ポイント2 景気減速の動きが続く  
景気は底堅さを保つ見込み**

- 14日発表の主要経済指標は、いずれも市場予想を下回り、中国景気が減速している動きが示されました。ただし、国家统计局は減速の特殊要因として高温多雨の影響を挙げています。8月の降雨量が1961年以来3番目に多かったことや、8月のPMIが上振れするなど企業の景況感は良好なことを踏まえれば、今後の中国景気は減速しても一定の底堅さを保つと見られます。

【上海総合指数と人民元】



(注1) データは2015年1月1日～2017年9月13日。  
(注2) 人民元は逆目盛。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**今後の展開 底堅い景気を背景に中国株式や人民元は堅調地合い**

- 為替市場では、人民元の対米ドル相場が上昇し、一時約1年4か月ぶりの高値をつけました。主要通貨に対するドル安が進行するなか、中国景気が底堅いことや中国当局が10月の共産党大会をにらみ、人民元を高めめに誘導していることから、人民元は当面しっかりとした動きが見込まれます。
- 中国の代表的な株価指数の上海総合指数は約1年8か月ぶりの高値水準で推移しています。底堅い景気を背景に企業業績が改善していることに加え、最近の人民元高・ドル安が中国への資金流入を促す期待もあり、中国株式は堅調地合いを維持しそうです。

**ここもチェック!** 2017年9月 1日 中国景気の底堅さを示したPMI  
2017年8月14日 最近の指標から見る中国経済（2017年8月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。